



ibarak!

vol.30

shoko kasama newspaper

商工かさま



2025年1月20日発行

●発行責任者・飯村 信康 ●発行・笠間市商工会 〒309-1611 茨城県笠間市笠間1464-3
●TEL: 0296-72-0844 FAX: 0296-72-5495 ●http://www.kasama-shoko.jp/
●商工会会員数…1928人



迎春 新年のご挨拶



伴走型事業所支援と 地域活性化への取り組み

笠間市商工会長 飯村 信康

新年明けましておめでとうございます。令和七年を迎え、会員企業の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より商工会の事業運営等に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国経済は、内需を中心に底堅い成長が続くと予想されており、緩やかに持ち直しております。ただし、米国の第2次トランプ政権の政策に左右される可能性が高く、日本経済にも大きな影響が懸念されています。その一方で、中小・小規模事業者の経営環境は、人手不足や後継者不足、最低賃金引上げへの対応、物価高騰による個人消費の減少など大きな課題に直面しています。

このような中、商工会では、物価高騰関連の各種支援策の実行に当たりました。特に笠間市と連携した「笠間市プレミアム商品券2024」を発行し、物価高騰の影響を受ける市民の生活支援と消費喚起を通じた市内事業者支援に努めました。会員事業者の相談に対しては、各種補助金の申請や資金繰り相談など、伴走型支援を行いました。

建設業の活性化策として、市と連携した笠間市商工会「住宅・店舗等リフォーム促進補助事業」を昨年5月と9月に実施、さらには8月には外構（エクステリア）補助事業を実施し地域の需要喚起を図ることに、建築業会員事業者の受注促進に結び付けることができ、大変好評を頂いております。今年も引き続き事業継続に向けた対応協議を進めて参ります。

令和7年は巳年で、成長と変化の象徴とされ、特に「転換の年」や「物事が大きく進展する年」と信じられ、発展や飛躍する年になりますよう、商工会は皆様へのご支援に全力を尽くしてまいります。結びになりますが、新しい年が会員の皆様にとって、輝きと飛躍に満ちた年となりますことを心よりお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。



新たな時代への希望と挑戦

笠間市長 山口 伸樹

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

また、日頃より商工業の振興と地域経済の活性化にご尽力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。令和6年を振り返りますと、2月に日経平均株価が34年ぶりに高値を更新し7月には史上最高値を記録しました。

そして7月には新紙幣発行、10月には石破内閣発足など、新たな時代の幕開けを感じさせる一年となりました。しかしながら、物価高騰の影響により、多くの方々が生活の改善を実感できない状況が続いております。こうした情勢の中、市は物価高騰の影響を受ける生活者の支援のため、商工会と協力しプレミアム率20%の商品券を4億8千万円分発行し、生活支援と地域経済の活性化を図りました。

また、新紙幣発行に伴い改修した券売機等の費用に対する補助を実施、女性の復職支援、外国人労働者の雇用セミナーを開催することで、企業の人材不足対策にも力を入れてまいりました。さらに、商工会と創業セミナー「創業塾」を開催するとともに、創業支援補助事業を行うことで新たな事業の立ち上げをサポートし、多くの方々が新たなビジネスに挑戦し地域の経済活動が一層活発になっております。

国では、国民の安心・安全と持続的な成長に向けてすべての世代の現在や将来の賃金を増やすことを最重要課題とする新たな経済対策を決定しました。

市といたしましても、商工会と連携しながら、雇用対策や創業支援を推進し、持続可能な産業発展と誰もが活躍できるダイバーシティ社会の実現を目指してまいります。結びに、笠間市商工会の更なる発展と、会員の皆様のご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

新年のご祝詞を申し上げます。

会長	飯村 信康
副会長	大月 政明
理事	郡司 勝生
	飯島 正平
	井坂 一二
	石井 洋
	石川 勝己
	入江謙二郎
	大関 久子
	大関 久義
	川井 英明
	久野 正博
	久保田貴之
	桑島 利光
	田中 早苗
	茅根 佳和
	中島 清
	萩野谷幸三
	福田 勝之
	藤井 敬一
	藤枝 勉
	本間 好一
	宮崎 和彦
	宮本 裕司
	山口美由紀
(青年部)	埜 周一
(女性部)	塩畑 勝子
(壮年部)	藤枝 進一
監事	石井 栄一
	松岡 和枝



イベント&商工会部会活動



ふるさとまつりinかさま 笠間商工まつり開催

10月19日(土)20日(日)の2日間、ふるさとまつりinかさま会場にて「笠間商工まつり」が開催されました。昨年に引き続き、2日間の開催であり、笠間市友部公民館を会場に、模擬店や地元名産品の販売、模擬上棟式など様々な催しが行われ大いに賑わいました。

さくらまや歌謡ショー



一店逸品20周年事業

地域の魅力を広く知らせることを目的に実施している「いわま一店逸品カタログ」発行事業が、本年度は20周年を迎えました。参加事業所38店舗によるスタンブラリーと一店逸品抽選会を実施しました。また記念事業として令和6年12月22日(日)地域交流センター「あたご」にて抽選会を開催し、大勢の住民が参加されました。



サービス業部会

日帰り視察研修会を開催

11月5日(火)に日帰り研修会を東京方面で開催、国会議事堂では日本の法律制定や政府の監視国家の重要な政策決定する場所を見学し、議事堂内の案内を田所衆議院議員より直接説明頂き見学をしました。
又、普段乗る機会がない日の出棧橋の水上バスに乗り、浅草まで移動し観光することが出来ました。
参加頂いた方に喜んで頂き有意義な研修会となりました。



工業部会

日帰り視察研修会を開催

工業部会では11月12日(火)に東京方面へ日帰り視察研修会を開催しました。中でも国立印刷局では紙幣の歴史を勉強する他、今年7月に新しく発行された紙幣にどのような偽造防止技術が施されているかを視察して来ました。



商業部会

接客セミナーを開催

商業部会では、サービス業部会と合同により12月5日(木)に接客セミナーを開催しました。テーマは「お笑い芸人流」すぐ使えて、しつかり伝わるコミュニケーション術」と題し、お笑い芸人の桑山元氏により、日々の接客に生かされる講演となりました。



壮青年部

親睦ゴルフ大会を開催

壮青年部は、青年部員や商工会理事参加のもと12月16日(月)に日本ゴルフツアー選手権のコースでもある穴戸ヒルズカントリークラブ西コースにて親睦ゴルフ大会を開催しました。当日は、天候にも恵まれ参加された31名の方たちは親睦を深める良い大会となりました。



女性部

一泊視察研修会を開催

女性部では11月12日(火)〜13日(水)にかけて毎年恒例の一泊視察研修会(長野方面)を開催しました。初日に国宝松本城を視察し、翌日、日本一の高さを誇りダムの王者ともいわれる黒部ダムをの絶景を楽しみました。部員同士の絆も深まり有意義な研修会となりました。



青年部

全国大会・視察研修会開催

11月27日(水)28日(木)にハノンニックススタジアム吹田にて開催された青年部全国大会に参加し各商工会青年部員の主張発表を聞いて頂きました。
全国から選ばれた発表者だけあつて各商工会青年部活動について素晴らしい発表をされていました。(最優秀賞石川県能登町商工会青年部)又、翌日は大阪市内の観光地を巡り研修を行いとても実のある2日間となりました。



観光部会

「笠間城と城主たち」講習会を開催

9月30日(月)南利秀先生を講師に迎え、講習会を開催しました。鎌倉時代の藤原時朝が笠間城を築いたことから、廃藩置縣されるまでの城主たちについて学び、知識を深めることができました。観光客の対話にも活かすことができる内容で、有意義な講習会となりました。



建設業部会

広域講習会を開催

建設業部会は8月〜9月にかけて近隣商工会と連携し建設業の技能講習会を開催しました。
3種類(小型移動式クレーン運転技能講習・小型車両系建設機械特別教育・高所作業車運転技能講習)の講習を座学、実習と実施し参加された受講者に修了証が発行されました。



広報委員
委員長 石川 勝己
副委員長 郡司 勝生
委員 沼田 雄一
委員 福田 雄一
委員 川上 勝之郎
委員 塩畑 裕二
委員 櫻井 裕二

小規模事業者持続化補助金 公募採択状況

令和4年度補正予算-令和5年度補正予算
小規模事業者持続化補助金<一般型>

申請	申請締切日	採択率
第14回受付	R5.12.12	5/11 (45.5%)
第15回受付	R6. 3.14	6/13 (46.2%)
第16回受付	R6. 5.27	3/ 8 (37.5%)

岩間事務所 昼休みのお知らせ

岩間事務所では、令和7年1月より12時から13時の窓口業務を休止いたします。皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

使用者も労働者も。必ずチェック
最低賃金
時間額
茨城県の最低賃金は **1,005円**
【発効日】令和6年10月1日

第215回 珠算検定試験 1級合格者
合格
令和6年11月17日開催
小泉新汰さん 阿部千紘さん